



ここが聞きたい

一般質問



1. 江上 隆行 …… P6

- ①「福津市スポーツ振興計画」における取組みの検証と分析結果および今後の本市のスポーツ推進の取組方針について問う

2. 榎本 博 …… P6

- ①福津市教育総合計画について
- ②市の財産の有効活用について

3. 碓野 九州男 …… P7

- ①福岡県消防学校跡地利用について
- ②福津市のイベントでは安全対策を
- ③空き家対策について
- ④生活保護の申請について

4. 蒲生 守 …… P7

- ①高齢者の外出支援について
- ②広報ふくつの取組みについて

5. 井上 聡 …… P8

- ①地域交通体系の見直しの進捗状況は
- ②各イベントへの市の関わりと支援策は
- ③地域防災計画の今後の取組みは

6. 中村 清隆 …… P8

- ①福津市立全小学校の特別支援学級について
- ②子育て世代包括支援センター(母子健康包括支援センター)の整備について

7. 永島 誠也 …… P9

- ①防災訓練および市の防災マップの今後の計画は
- ②公共施設のトイレの状況は

8. 吉水 喜美子 …… P9

- ①小中学校の教室の確保について

9. 戸田 進一 …… P10

- ①国民健康保険制度の広域化にあたり、国民健康保険税率のありかた及び市民の健康づくりについて
- ②勝浦小学童保育所の抜本的な見直しを

10. 横山 良雄 …… P10

- ①市営納骨堂について
- ②福間中学校の建設について
- ③本市検討課題の進捗について

11. 豆田 優子 …… P11

- ①多様な性の人権教育について
- ②防災に女性の視点を
- ③乳児から成人までの切れ目のない相談・支援体制について

12. 米山 信 …… P11

- ①「子育て世代包括支援センター」の整備について

13. 永山 麗子 …… P12

- ①市民に喜ばれる図書館整備を
- ②健康で安心して暮らせるまちを目指した取り組みを

14. 大久保 三喜男 …… P12

- ①産廃関連資材置き場拡張問題について
- ②水門事故による農作物の塩害の対応について

15. 永島 直行 …… P13

- ①各小中学校の運動場の排水対策について
- ②市道の維持管理について
- ③「新原・奴山古墳群」について
- ④市長公用車について

一般質問の詳細は、福津市議会ホームページをご覧ください。
 質問者ごとに一般質問を録画配信しています。公開は、各定例会後の4年間です。
 (検索方法は15ページに掲載)



福津市古墳キャラクター
ふんちゃん



江上 隆行

福津市の計画は 誰のために作るのか

市民のためである

問

①平成21年度から28年度が計画期間の福津市スポーツ振興計画は既に終わっているが、本計画の検証と分析結果は怎么样了っているか。

②福津市が作る計画とは、そもそも何なのか。

③計画は誰のために作るのか。

④計画とは、それをきちんと実施すれば市民が恩恵に浴するものであるという理解でよいか。

⑤なぜ、スポーツ振興計画を作る必要があったのか。

⑥振興計画では数値目標がない。次のスポーツ推進計画では数値目標の設定を提言するがどうか。

⑦今後きちんと進行管理を行うための教育長の決意はどうか。

答

①本市のスポーツ振興計画は機



福津市の計画行政は大丈夫か

能したとは言えない。また、進行管理の具体的な方策がないまま検証すべき審議会の組織化ができて、十分な検証をしていない。

②スポーツ振興計画については、市民生活の質の向上と豊かな人生をめざすためのものである。

③市民のためである。

④市民の福祉、健康増進のための計画だから、そのとおりである。

⑤市民が様々な形でスポーツに参加し、スポーツを楽しみ、喜びを得ることで生き生きとした人生にするためである。

⑥数値目標は、一番根幹をなす部分なので取り入れたいと思う。

⑦具体的な実践方法を協議して、進行管理を行なっていきたい。



榎本 博

今後の幼児教育の あり方は

質の高い幼児教育を
進めていきたい

問

福津市総合教育会議で委員から、大和保育所と神興幼稚園が私立保育所・幼稚園のお手本になってほしいと言われていた。市の考えは。

答

新たにこの5年をかけて、今後の流れの中でどういう形が一番望ましいのかを考えていきたい。

問

特別支援学級の教師の不足、教室の配置、また教師の長時間労働の問題も出ていると聞く、市の考えは。

答

今非常に厳しい状況で、学校長と協議しながら、一番いい方法を



ICTを活用した学校の授業

検討しているところである。

問

宗像市で行われた研究発表で、電子黒板などICTを活用した授業が行われていた。映像機器も福津市と比べて揃っていた。また不足している指導員やスクールカウンセラーの人材確保など、次期教育総合計画策定と同時に教育予算の確保に努める必要があると考え。市の考えは。

答

建物の老朽化も進んでおり、効率的な補助金等も利用して学校のハード面の整備もしながら、幼児教育や特別支援教育の充実とソフト面は、大変重要だと思っている。



硯野 九州男

空き家が不審火で全焼・・・対策を

不審火かどうか調査中 消防の見回りを強化

問 放火や不審火が全国で5814件・出火の原因が6件に1件が不審火。11月、原町で空き家と思われる家屋が不審火で全焼した。警察は2日間 にわたり検証しているが、不審火かどうかの報告を警察から受けているのか。
どのよう な対策を考 えていくのか。

答 この火災は不審火かどうか警察で検証している。日ごろから消防団による夜警などを行い、火災予防の啓発に努めていた。

今後は、警察による夜間パトロールをお願いし、行政としては自分たちの地域は自分たちで守るといふ考えのもとに、消防団や自治



全焼した原町2区の空き家

会防災組織、郷づくりの青パト巡回を密にしてみようなど協力していく。さらには地域の情報をもらい積極的に対応していく。

▼消防学校跡地の利用について

問 福岡県消防学校跡地を宗像地区消防本部や福岡分署の建て替えのために、土地確保が必要であり県と協議をすべきではないか。

答 福岡県は「公用・公共目的であれば優先的に地元市町村の利用について協議を進める」と知事は答弁している。県とも話をしたことがある。ただ宗像地区事務組合の検討委員会の中で消防力の整備指針・場所など検討されると思う。



蒲生 守

買物支援イロイロ 便終了後は

新たな買い物支援のあり方を進める

問 免許を返納した高齢者が初めに不便を感じるのが買物。商品を自宅まで配達をする「イロイロお届け便」もいいが、自分で選びたい、だからそこに行きたいと言っている高齢者の声。年間300万の予算を使っていた「イロイロお届け便」がうまくいかなかったためやめる、それで終わりなのか。

答 予想を下回る利用者で5年間のモデル事業をもって終了とする。今後、利用頻度のあつた方に対しアンケートをお願いし、買い物困難者に対しては最後までフォローをする予定。



5年間の買物支援事業終了

問 イロイロお届け便の事業内容には商工活性化の意味合いもあつたが今後は。

答 たずさわっていた商店会からの提言で、移動販売が望ましいとあつたが、初期投資もかかるため慎重に検討したい。商工振興には、なりえないとの結論。

問 社会福祉協議会が音頭を取り、高齢者の年末の買物支援を試行的に行う。市でも検証し、取り組んではどうか。

答 今後高齢者サービスクとこれまで移動販売を担当していた地域振興課で協議し、新たな買物支援制度を進めていかなければならない。



井上 聡

地域防災計画の 今後の取組みは

自主防災組織等協議で 充実した防災訓練に

問 安心・安全のまちづくりのため、自助、共助、公助の確立、減災の環境整備、防災訓練の実施などがあるが、大雨、火災など市の体制整備は。また、本年度の全市一斉防災訓練の結果は。

答 大雨には、梅雨入り直前に、水防会議を開き、危険箇所を巡視。火災体制で消防団は、機関員訓練、火災防御訓練、林野火災訓練などを行なう。今回の全市一斉防災訓練は、市民と職員共同の訓練を一部の地域で避難所の開設訓練に取り組んだ。今後は早い段階から自主防災組織等協議を重ね、さらに充実した訓練にしたいと思う。



水位表示の周知を（西郷川四角橋他）

問 県港湾課の津波浸水想定福津市地図で、浸水箇所への考えは。

答 県が市の意見を聞き、指定区域を認定する形になり、市は、平成30年度末までに防災マップを新たに作り、周知を図りたい。

問 有事避難誘導マニュアルの作成を急ぐべきではないか。

答 近年の状況を見ると、早急なる作成が必要かと思う。

問 非常用持出し袋の所有の考えは。

答 一家に1個はぜひ持ってもらいたいと思っている。



中村 清隆

特別支援学級の 課題解決を

学校現場の要望に十分 協議し進めていきたい

問 特別支援教育支援員数は、不足している。今後、増員や勤務条件の改善はないのか。

答 福岡都市圏内の他市を調査し、改善や見直しを進めてみたい。

問 スクールカウンセラーの勤務時間等の状況は。

答 非常に短い時間数。学校支援の学校、チーム学校を目指す上でもスクールカウンセラー等の拡充は、今後、必要になると思う。

問 体温調節をしにくい障がいを持つ児童の教室に、空調設備を。



ランチルームや普通教室を区切り、
風通しも悪い特別支援学級の教室

答 教室環境に起因する体調面や精神面での悪影響を受けないよう、空調設備を設置するなど、配慮が必要だと感じている。

▼子育て世代包括支援センターについて

問 設置の検討はされているのか。

答 センターの開始時期は平成32年度になっていくと思う。

問 地方創生交付金の活用ができれば、専門職は増員できるのか。

答 人事、総務課、財政課と十分協議しながら、増やす方向でお願いしていきたいと思う。



永島 誠也

防災訓練の今後は

充実した訓練になるように取り組みたい

問 今回防災訓練が終わって今後の訓練にどう反映させるか。

答 一斉防災訓練では、郷づくり・自治会等の自主防災組織の方々に精力的に取り組んでもらい感謝をしている。次年度に向けて各自主防災組織と協議を重ね、さらに充実した訓練になるように取り組みたい。自主組織の無い地区には、各種会議の場で積極的に自主防災組織の組織化を働きかける必要性を感じている。

問 今回の訓練で防災無線の聞きづらい所はなかったか。



赤ちゃんと入れる洋式トイレへ

答 聞きづらいとの指摘があった。反省として防災無線だけでなくあらゆる方法で対応する。

問 本市において災害時のペットの問題はどう考えているか。

答 災害時の動物救護計画の策定準備を進め現在情報収集中である。

▼公共施設のトイレについて

問 和式から洋式に変える考えはないか。

答 公共施設内のトイレの洋式化は、考えていかなければならない課題と認識している。



吉水 喜美子

小中学校の教室の確保について

児童生徒数増でも必要教室を確保する予定

問 平成30年度の児童推計が提出され、福間小、福間南小、津屋崎小が学級増の予定である。今後どう対応していくのか。

答 福間小は保有教室が29教室あり30年度は28教室を想定し、31年度は31学級を想定しており、現在の工事後、保有教室は41教室に増加する。福間南小は保有教室が36教室で30年度は40教室を想定し、本年度中にリース校舎を5教室増加する。津屋崎小は保有教室31教室で30年度は31教室を想定し、特別教室を改修し確保する。31年度に対応するため30年度中にリース6教室を計画する。



勝浦小学校2年生 児童数 16人
(特認児童数 10人)

問 私が危惧することがある。①福津市人口が増え、転入者が増加して教室が足りないのも一時的なことで、ピークの予測を誤ることなく、増築をしてその後、空き教室が増えることのないよう情報収集をして、教室数を見極めてほしい。②児童生徒の増加している期間に、上西郷小学校への校区の弾力化や特認制度を設けるなどして、いつまでも上西郷小学校と勝浦小学校が存続できるように、福間南小の通学区域の弾力化について伺う。

答 大規模校や小規模校に対する対策を審議するための審議会を立ち上げ議論する。



戸田 進一

勝浦小学童の施設 見直しを

地域交流センターの中に 設けるのがベストだ

問 勝浦小学童保育所は、勝浦小学校の音楽室を使用して開所している。そのため、施設・設備上の制約があり困っている。

勝浦小学校は、市内在住の児童であればどこからでも転入学できる特別認可制度をとっており、小学校や地域の活性化に大いに寄与している。そのこともあって、現在、学童保育所の利用者は、設立時の倍にもなった。

特別認可制度のためにも学童保育所の抜本的な見直しは大きな案件と思うがどうか。また、今後、老朽化した公民館を建て替え、地域交流センター（郷づくり拠点）建設の計画もある。



勝浦小学童保育所（勝浦小学校の音楽室）

今こそ見直す時期ではないか。

答

特別認可制度は地域の活性化に寄与しており、特別認可制度の学校には、なおさら学童保育所は必要だ。よって地域交流センター等の中に学童保育所のスペースを設けるのが一番ベストな選択だ。市役所内部で、もう一度協議する。

国民健康保険制度広域化にあたり

問

30年度より制度変更され、今でも高い国保税の値上げの危険がある。今すべきことは市民の健康づくりの施策（特定健診項目の充実や保健師の増員）を強めることだ。

答

健診項目充実を検討する。



横山 良雄

市営納骨堂の建替 えは加入者配慮を

計画策定後、周知期間を 確保するよう努める

問 築56年になる市営納骨堂の建替え計画は進んでいるのか。

答 今年度は納骨堂加入者の台帳整備を行い、次年度に建設準備委員会を発足し、時期、規模、費用などを検討予定している。

問 建替え期間の利用者配慮は。

答 遺骨移動など約2年を見込み、解体から新築までの具体的な方法や進め方と、受益者負担額の方針について計画策定され次第、速やかに加入者にお知らせし、周知に十分な期間を確保するように努めていきたい。



老朽化した市営納骨堂

▼福間中建設は人口減少を見据えて

問 日時野、西福間の人口急増に対応する福間中学校の建設計画は。

答 将来的な教室不足と老朽化対策のため、校舎改修と増築工事をおわせて行う必要があり、様々なプランを検討する為に、本年度は整備基本設計を行っている。

問 児童生徒数のピーク後を見据えて、高齢者福祉施設としても利用できるコミュニティ・スクールを考慮した新築計画は。

答 建替えも含め、トータルコストやピーク後の対応を検討し、方針が固まり次第、議会に報告する。



豆田 優子

相談窓口の時間短縮 と情報の共有を

事務改善を行うと共に
調査研究する

問 相談窓口は、幾つにも分かれている。ライフステージごとにその日常を相談するところは違っている。相談窓口ごとに状況を説明するため、相談時間が長時間になっている。担当別を持っている情報の共有化はどうなっているのか。総合的相談窓口の設置を考えられないか。また、成長・相談内容を個人が記録できる宇城市の「よかところファイル」の様なものの導入は出来ないか。

答 乳幼児から成人までの成長の記録などは、複数の部署で掌握しており、共有はできていない。手続きについて事前に知らせ、準備し



子どもの特徴が“よかところ”

ていただくことで、相談時間の短縮を図ることもでき、負担軽減ができるものと思われるので、事務改善を行う。「よかところファイル」については、担当課で、宇城市に話を聞くなど、調査研究をさせていただきたい。

▼多様な性の人権教育について

問 今夏、職員研修では当事者を講師に研修会をしている。大人が多様な性への正しい知識を持つことが重要だと思う。市民への啓発は、

答 知識は得ることは必要であるが、どんな差別も許してはいけないという、人権感覚を高揚させていくのが、我々の役目だと思う。



米山 信

子育て世代包括支援 センター設置は

平成32年度末までに
必ず設置する

問 母親に対し、妊産婦から子育て期にわたる切れ目のない支援のための拠点として、国は同センターの設置を平成32年度末までに全国展開を目指している。本市は平成32年度末までに設置できるのか。

答 拠点としてのセンターは、平成32年度末までに必ず設置する。

問 私は議会ですべて子育て支援に関し、療育と教育を一元化した部署を設置するよう再三求めてきた。発達障害・特別支援教育について、乳幼児から小中学生までの一貫した支援体制が必要だからである。同センター設置に伴い、療育と教育



現在の子育て支援センター「なかよし」

を一元化した部署をセンターに設置する考えはないか。

答 子ども行政については、教育委員会と市長部局の間で障壁がある場合、部局を超えた組織機構を考慮しなければならぬ。今、総合計画を作成中であるが、その総合計画の中で現状の組織を検証し、見直すことになる。

問 暫定措置として、小学校・学童保育への臨床心理士による支援体制ができる予算処置を求めます。

答 現在来年度予算の査定中であるので、再度ヒアリングを実施する。



永山 麗子

健康で安心して暮らせる取組みを

他市町村も調べ、すぐ取組める内容でしたい

問 国民の健康寿命延伸実現の為にデータ分析に基づき効率の良い保険事業をしていたが、保険者努力支援制度の創設で、医療費抑制に努めている自治体は高得点となり、優先的に補助金が配分される。そこで、大分県日田市のように、ポイントサービス事業をしては。

答 他市町村の状況もよく調べ、市民に魅力ある内容に発展させ、すぐに取組める内容で始めたい。

▼市民に喜ばれる図書館整備を

問 本は人に読まれてこそ価値が生まれる。地域貢献できる図書館つ



日田市健活ポイントサービス事業

くりを取組んでほしいもの。
①移動図書館の考えは②10時からの開館を③「図書館の応援団」を作っては④社会人や障がい者向けサービスは⑤「開けてビックリ本の福袋」や分かりやすいブックリストで、保護者向けの啓発を⑥入口ゲートや自動貸出機等、利用者に安心を与えているものは。また、知的欲求を満たす場所にするため、司書に研修の機会を。

答 ①必要性はない②少なくとも1年間はそのままで③図書館運営協議会の中で諮る④充実に努めている⑤参考にし、喜んでいただけるよう推進する⑥読書ノート等、早急に方向性を見出す。司書には、県や団体の研修がある。



大久保 三喜男

産廃関連資材置場 拡張は認めないで

現行法で規制することは困難である

問 五反田地区にある産廃関連の資材置き場で三度目の火災が発生。自治会は安全・安心な暮らし、自然環境の保全などを求め全会一致で反対を決議し、資材置き場拡張に反対の運動をすすめている。

農地転用を認めないよう農業委員会に求め審議されているが継続審議中である。

世界遺産関連での拡張でもあり、景観計画からみても五反田地域に産廃関連の資材置き場は周辺の景観と調和、良好な車窓風景にもそぐわないものである。市として、地域住民の声を受けとめ、これ以上産廃関連施設の拡張を認めない姿勢を示していただきたい。



三度目、資材置き場の火災

議会だより ふくつ

答 産業廃棄物の処理及び清掃に関する関係法令に従って対処するので現行法で規制することは困難である。景観上の問題は文化財保護法に基づく以外の地域なので拡張・撤去は認めないとは言えない。

▼塩害被害の対応を

問 平成27年の水門事故で農作物被害が発生。損害賠償で解決していたが一部の耕作者より裏作被害の賠償を求められている。他に被害者がいるので市の対応を求めめる。

答 裁判中であり裁判所が判断すると思う。他に被害者がいれば話を聞くが補償は完了していると思っ



永島 直行

マムシ対策として 早急に暗渠排水を

今提案があった暗渠に
ついては現地をみる

問 勝浦小運動場の東側にマムシ注意という看板があった。ここは常に湿気があり側溝を設置すべきと要望したが未だ無い。学校にこの様な所があるのは安心して運動や遊びが出来ない。早急に改善すべきと考えるが暗渠排水等で対策を。

答 勝浦小の周りの部分については確認したら土砂で詰まっている状態。排水が非常に悪い状況である。通常は側溝の清掃あるいは砂上げで対処している。暗渠排水はグラウンドの整備や学校を作る時にやっている。今提案があったのでどの様な形でどの部分に暗渠排水をすればいいのかみてみたい。

▼市道の維持管理について



校庭の端にあった立看板

問 市道の中央線、側線、横断歩道の線が消えている所が多く見受けられる。勝浦小の通学路、大石下塩浜口のバス路線等福津市全体で相当ヶ所あると思う。運転に支障をきたし危険である。早急に調査し整備すべきと考えるが。

答 交通安全施設に関する地元要望を行い現地を把握している。黄線や横断歩道については警察に要望している。市道のライン管理については、言われるように市内何ヶ所かそういう所が見受けられる。定期的、計画的な調査をし対応を考えていきたい。

積極的に様々な議会改革を進めてきた 岩倉市議会並びに袋井市議会の議会運営 と議会活性化の取組み

議会改革の取組みは、全国的に進んでいる。議会基本条例による議員の災害時の対応、議会報告会の開催、各種団体や中学生から大学生との意見交換会、常任委員会、特別委員会の会議録システムによる公開など愛知県岩倉市議会、静岡県袋井市議会の取組みについて視察研修を行った。

(議会運営委員会所掌事務調査)

岩倉市議会では、「議員力より議会力」をキーワードに、議会基本条例制定に向けて、機関としての議会の能力を把握することから始めたことや「やれることからやっていこう」という説明に、岩倉市議会における課題は議会の機能強化であり、議会事務局の強化、議会サポーター制度を導入してはどうかなど門戸を広げ、より多くの人々から意見をいただくため要綱を作成している。

本市議会でも議会のあるべき姿の議論を通じ、市民理解の必要性を感じた。

袋井市議会では、市総合計画基本構想及び同基本計画について議会の議決すべき事件とするよう条例を制定。長期間の計画に縛られることなく市長の任期に沿ったコンパクトプランなどを作成し、確実に実行しつつ市民サービスの低下にならない工夫がある。また、平成30年2月定例会からペーパーレス会議システムを本格稼働としている。本市議会でもタブレット端末を使用したペーパーレスの検討が必要と考える。議会内の利便性・経済性・情報の機敏性など充実していくことに期待したい。